

本年四月より障害者自立支援法の基づく新体系事業がスタートしました。
新しい川部みどり園での再生の鍵を各事業班に語っていただきました。

生活介護



生活介護班では4月に養護学校を卒業したばかりのフレッシュなメンバーが加わり39名が3グループに分かれて活動をしています。

豊かな生活を送るための一つのプログラムとして、園の栄養士の指導のもと調理実習の機会が増えています。昨年植えつけた、たまねぎやじゃがいもを自分たちの手で収穫し、皮をむいたり、茹でたり、それぞれの利用者ができることに参加し、カレーやスパゲッティ、お好み焼き作りにトライし、手作りの食事を楽しく味わっています。

また重度の障害を持った方々へのコミュニケーションの支援向上のために香川大学教育学部坂井聡准教授の指導を受けながら「わかりやすく伝える」ために絵カードや写真カードを使って一日の流れや作業手順を示すなどの工夫を取り入れています。

このような活動を通して生活介護班では利用者が求める楽しく豊かな生活、安心、安全な暮らしを提供できるよう励んでいます。

今回は、私たちが実際に行っているプログラムの中から、SST(社会生活技能訓練)を紹介します。今、取り組んでいるのは、「日常生活に役立つコミュニケーション」についてです。具体的な課題(目標)は予め班員会議で決めますが、今年度は、簡単で、身近なものを中心に、11項目が選ばれました。練習をする必要があるのかと思われるかもしれませんが、意外と難しいことが多いようです。実際、朝の挨拶の練習をしたことで、現在の朝の登園風景は、一日の元気をもらえる時間へと変わり、確実に良いコミュニケーションが取れるようになってきています。

課題の例 「挨拶をする」「謝る」「寝める」「礼を言う」等

生活訓練



就労移行

現在、就労移行支援で力を入れているのが、個人別の支援ツールの開発です。

利用者の個性は一人ひとり異なります。

やり方がなかなか覚えられない人。メモを取ると安心して仕事に取り掛かれる人。手順を一度に覚えてしまうが、すぐに自己流に変えてしまう人。

訓練をしていると、これまで彼らが「できない」とレッテルを貼られるのは、すべて個人に適切な支援ツールが提供されていないからだ痛感します。その人に合った支援ツールを渡すと、驚くほど自信に満ちて訓練に取り組んでいます。

課題はそのツールをどう開発し続けていくかです。彼らはいずれ私達から去っていきます。そのときにツールがないからとドロップアウトされては困ります。自身でツールが作れるように、無理なら職場の人に作ってもらえるような簡単なものにしていくのが私たちのもっとも大切な仕事のひとつと考えています。



メゾンふけ

地域移行

平成22年8月に地域移行した河江さん、23年2月に地域移行した真鍋さんを訪ねて「なかまの里ケアホーム・メゾンふけ」と二人が利用している日中活動の場「生活介護事業所・なかまの里」を訪問しました。

「メゾンふけ」での様子

平屋の一戸建て住宅で男性3名、女性1名の共同生活です。それぞれの個室にリビングダイニング、庭には世話人さんが世話をしている小さな畑もありました。

職員が訪問すると満面の笑顔で迎えてくれた真鍋さん。マイペースで洗濯物の片づけを続けていた河江さん。

世話人さんと一緒にゆったりとした生活を楽しんでいるようでした。

「なかまの里」での様子

訪問したのは丁度お昼休みが終わった直後。

二人はロビーで音楽に合わせて、エアロビクスさながらリズム体操をしていました。散歩や軽作業、様々な活動、掃除、そして締めはジュースの時間。ロビーの自動販売機でそれぞれが好きな飲み物を買って一息入れ、一日の活動が終了するそうです。



なかまの里

西棟

【ボランティア活動と山登りで心育て・身体づくり】

西っ子の皆は毎日元気いっぱいにご過ごしています。支援テーマに沿って週末には『高松から東京まで(702km)一年間で完歩』『富士山(3376m)を登頂』を合言葉に長距離歩行や里山歩きに挑戦しています。この取り組みは昨年からはまったものですが、子どもたちに体力がついてきたことが足取りの軽さで伝わってきます。山登りは今年度は地域にある堂山(304m)に登ることが多いのですが、四季を肌で感じたり、体幹の強化によってバランスのよい健康な身体づくりを目指しています。

〈心育て〉は西っ子児童会を中心に取り組んでいます。エコ係りを決めて節電を呼びかけたり、高齢者施設への清掃・交流ボランティア活動に定期的に取り組み、人の役に立つ経験を積み重ねています。西っ子のメンバーが自ら考え行動できる力の育成のために側面から支援し、人の役に立つ体験など、人と人との交流を通じて優しさや挫けない心・身体を持つ逞しい子ども達に成長してくれることを願いながら、今日も賑やかに子ども達と過ごしています。

北棟

【ファイト! 北棟!】

子ども達は十人十色!様々な動き、要求があります。静かに部屋で勉強する子、音楽を聴いたり、ブロック遊びをする子、中には要求が伝えられず、パニックになったり、トラブルになることもあります。私たちは常に個性を大切に、一人ひとりが楽しめる空間を確保し、生活が保障され、遊びが広がり、成長発達することを願っています。安心・安全でのびのびと過ごせる場であることを第一に子ども達の声に耳を傾け、寄り添い、共に笑い、共に喜びあえる“ファイト!北棟!”でありたいと思っています。

キラキラとアートコンクール

優秀賞受賞

受賞の絵だよ



西棟の矢野葉月さん(15歳)が、三菱地所株式会社主催の、第9回キラキラとアートコンクールの優秀賞を受賞しました。1175点の応募の中から50点、選ばれたのです。



授賞式は、2月18日に東京の丸ビルで行われました。授賞式に招待をされた葉月さんはお父さんやおばあさんと一緒に東京まで行って、授賞式後、一泊してきました。1か月前から、東京での交通機関や、見たい所などをインターネットで調べて、お父さんたちをエスコートし、東京タワーや上野動物園に行ってきたそうです。

ありがとうコーナー

○徳田恒光弁護士様より、劇団カッパ座にご招待いただき子ども達が観劇、楽しい時間を過ごさせていただきました。

○株式会社グランド商事アドバンス様より、子ども達に大好きなおやつをいつもいただいています。

虐待防止の取り組み

当園では虐待防止の取り組みの一環として園内研修の実施等を行っていますが、11月の児童虐待防止推進月間に向けて、児童虐待防止・障害者虐待防止の標語を全職員が考えました。63名の職員の応募で69の標語が集まり、それを玄関ロビーに掲示し、外来者・職員に心に響いた標語を選んで投票してもらいました。その結果、優秀賞三点佳作三点が選出されました。また厚生労働省の「児童虐待防止推進月間」の標語募集に全作品を応募いたしました。

優秀賞

大好きよ 子どもが待っている その言葉
支えあう 手と手で守る その笑顔
声掛けに 見て見ぬふりが 後悔に

佳作

心の声 ぎゅっと抱きしめて 肌で聞く
気づこうよ 小さな子どもの 心のさけび
おかしいと思ったその時 救えるチャンス

ホットニュース

みどり園まつり 開催します

平成23年10月22日(土) 10時～14時

今年のステージは、毎年恒例のボラエモン、さぬき民俗芸能や斯道学園や児童の合奏やダンスに加え、輝連舞夢（きれんまいむ）のよさこい踊りや、丸亀城バサラ京極隊のパフォーマンスなど、今回初出場のグループもあり、盛りだくさんのイベントを用意しています。

また、さぬき和牛の特売、うどん、おでん、フランクフルトなど、わくわく、ドギドキ、満腹の一日を過ごしていただくスタッフ一同大忙しで、準備中です。

もちろん、不用品バザーや、遊び広場もパワーアップして、皆様のお越しをおまちしています。雨天決行です。



輝連舞夢（きれんまいむ）



丸亀城バサラ京極隊



昨年のみどり園まつりの様子

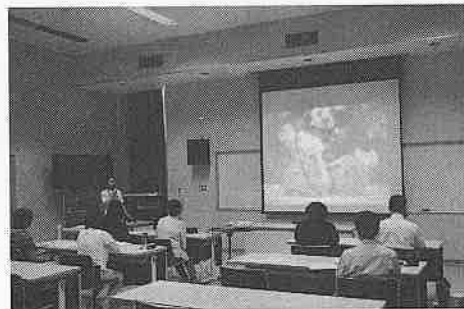
<研修について>

みどり園では、県内の障害福祉サービス事業所に対する様々な研修を行っています。

利用者の生活の幅を広げるためには、福祉現場で働く私たちの支援の質を少しでも高めていかなければなりません。上半期は、ホームヘルパーとして働く方々に対する研修を実習も含めて6日間、「障害福祉関係職員等の支援技術を高めるための専門研修」は、触法障害者については2日間、強度行動障害については4日間行いました。また、広く知的障害についての理解を深めてボランティアを養成することを目的として、「知的障害者福祉ボランティア講座」も開講しています。

下半期は、いよいよ相談支援従事者やサービス管理責任者の研修が始まります。また今年度は、障害者虐待についての研修も実施する予定です。

園内外の職員の皆さま、研修会に積極的に参加して、支援の技術を高めましょう。



<研修予定について>

相談支援従事者初任者研修
(9/29) (10/2, 4, 6, 7)

サービス管理責任者研修	
共通講義	(11/1)
就労部門	(11/8, 9)
児童部門	(11/21, 22)
地域生活（身体）部門	(11/26, 27)
地域生活（知的・精神）部門	(11/29, 30)
介護部門	(12/8, 9)

編集後記

11年ぶりに広報紙の発行に携わりました。利用者の顔も私たちの提供するサービスも刻々と変化していると実感。常に最先端を見据え、より良いサービスを提供できるよう情報発信を心がけたいものです。

編集・発行 〒761-8046 高松市川部町418
香川県立川部みどり園 TEL(代)087-885-8600
E-mail:midorien@pref.kagawa.lg.jp
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/shogaihukushi/midorien/>